

本庁北部地区まちづくり集会（H25.10.13 開催）

本庁北部地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月13日（日）10:30～12:00

◎場 所 北部公民館

◎出席団体数 18団体

神向自治連合会、大坪第一自治連合会、大坪第二自治連合会、幡生地区自治連合会、山の田自治連合会、大学町自治連合会、武久自治連合会、山の田小学校PTA、向洋中学校PTA、山の田中学校PTA、幡生地区連合婦人会、幡生周辺開発促進委員会、生野校区スポーツ振興会、山の田地区スポーツ推進協議会、北部第1地区民生児童委員協議会、北部第2地区民生児童委員協議会、北部第4地区民生児童委員協議会、北部地区保健推進協議会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10:30～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12:00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

本庁北部地区まちづくり集会（H25.10.13 開催）

【開催の様子】

10月13日に開催した本庁北部地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から18名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、本庁北部地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

本庁北部地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

本庁北部地区まちづくり集会

10月13日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
安全・安心			
防犯灯の設置(新椋野と三河の境界)			市補助予算の確保(電気代)
避難場所の確保(武久は海拔が低い)			
その他			
買い物弱者対策(灯油他)			行政は民間と連携して検討を(サテイ撤退)
バリアフリー対策(地下道、幡生駅)			
公民館の拡張			
新駅の整備に係る住民負担はどのくらい			
教育施設整備に係る情報提供、地域に開放			
幡生駅武久側に改札の設置を			
教育			
コミュニティスクールへの協力要請(子供会がほしい)		地域の皆様へご協力を	

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

大坪第二自治連合会の会長をしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

それでは、ご提案のありました内容については、地域の現状と将来を見据えた課題についてということでございます。したがって、現在の地域の課題を自由に出して頂きまして分野ごとに市の方で区分して、内容はパソコンで打たれると思ひますのでご覧になって頂きたいと思ひます。

時間は大体11時半ぐらいまで、若干予定時間を過ぎておりますので40分ぐらいまで、一つ色々な地域における課題について発言して貰ひまして、その課題についてまた後でどうすれば良いか等について検討させて頂きたいと思ひます。

どうぞ、ご自由に私の所にはこういった事がある。こういった問題がある、或いは地域全体でも良いです。それからこの公民館を中心とした色々な行事が行われておりますが、そういった事でも何でも結構でございますので、どうぞ発言をお願いしたいと思ひます。

発言にあたりましては挙手をして頂いて、所属を名乗られて、名前を言って頂いた上でお願いしたいと思ひます。どなたかご発言ございませんでしょうか。

【市民】

生野校区スポーツ振興会の会長をしています。先ほど、新椋野の関係がちょっと出ましたけど、防犯関係について、防犯灯を建てる場合、自治会が負担をして、もちろん市からも補助がありますが、今、三河公園の横が境になっている訳ですね。これをこちらが言い出して、こちらがやると三河の方に全部そのお金がかかってくる、そういう状況があるのですね。向こうもだまってやってもらったら、将来に亘って電気代とか維持費とかそういう物を出さないで済む訳ですね。三河がやると三河の方に全て掛かって来るという事で、いつまで経っても防犯灯の関係というものは進歩しない訳ですよ。

この場合について行政としたらどういう指導をされるかどうかということです。向こうは自治会費が無いから、お金を出そうに無いという事になって来ると、将来的に、あそこに防犯灯が全然無いままになる。もともと防犯灯は地域の皆さんも良い訳ですが、他の人が通るときに一番危険なのです。これが防犯灯の役割だと思うのですが。この辺についての基本的な考え方を1点お聞きしたいと思ひます。以上です。

【市】

形として、最初に課題を出して頂いた後で、解決策なり進めて行くという事でよろしいでしょうか。

【司会】

一つ課題について、今のような発言で結構でございますので、どうぞ一つこういった問題があるといった事をご発言頂けたらお願い致します。

【司会】

北部第2地区の民生児童委員をしています。

災害時の避難場所についてですが、この近辺で何カ所くらいありますか。それと、今、

ここは海拔何メートルですよと書かれてあるプレートがありますが、海拔を測る際の基準はどこの位置にあるのですか、干潮ですか満潮ですか。

私の家の場所は、海拔1.9メートルとなっているのですが、満潮時は1メートルあるかないかです。そうすると、そこに避難したくても、水が上がってきて避難できないと思います。武久地区は海拔が低いものですから、やはり津波に対する恐れがあると思いますのでよろしくをお願いします。

【市民】

幡生地区連合婦人会から参加しました。

住民自治によるまちづくりの実施に向けた検討課題という所で、市が地域サポート職員制度の創設等を行うとありますが、創設等というのは、どういう方が、どういう事を、どういう年齢層を対象にされる人なのですか。

先ほどのお話にもありましたように、今からやるのであれば、少子高齢化が進む中で、将来に向けて、そういうことをサポートする職員ですので、どういう年齢層の取り組みを想定されているか、それから、私は中核市の推進協議会の委員を4～5年ほどして、今、中核都市として市がされる時も、市から色々な部署の方が来られていますが、実際、私たちに指導されるのは21世紀協会の人たちで、担当の方とああでもない、こうでもない話をしながらやっているのですが、市の方は、それぞれの地域に即した話では無く、理想論ばかりを云われるのですよ。そのため、21世紀協会の方とは、変だよねとお話しをてるのですが、地域サポート職員制度の創設というのは、どのような事をされるのかちょっとお聞きしたいと思います。

【市】

すいません、大変恐縮なのですが、今日は皆さんからのご意見に対して、市が一つ一つお答えする場ではないのですが、今のご意見については、基本的な事だと思しますので答えさせていただきます。

非常に難しい問題ですよ。今から検討して行きます。職員数も減っていきますので、その中で、一つの考えとして必要なところに必要な人員を配置するという考えもあるのですが、それでは、例えば今は市が勝手に地域を22地区としていますが、それが実際には幾つになるか分かりません。減るかもしれないし、増えるかもしれない。

その時に、例えば22地区ほど出来た時に、地域サポート職員を1地区あたり1人張り付けるのか、それとも、何地区かのグループに張り付けるのか。また、張り付けずに、派遣するようにするのか。

いずれにしても、その辺について、またどういった人間を張り付けるか、先行地域では管理職なのか、どのような職員を配置するのかは今からの検討課題となります。

ある程度、地域と対応できる人員を配置しないといけないのかなということで、それについて一例を申しあげましたけれど、今後検討して、関係部局とも協議しながらとなりますので、今まだはっきりとしたお答えが出来ません。

【市民】

山の田地区スポーツ推進協議会から参加しました。

本庁北部地区まちづくり集会（H25.10.13 開催）

今日は、秋のスポーツ・レクリエーションということで、金毘羅公園までのハイキングを開催いたします。

今日の参加者を見ると、ほとんどが高齢者ですが、それはもう、この地域だから仕方がないです。子ども達も段々と大きくなって、中学生くらいになると、もう参加しないですね。

それはそれとして、今日のハイキングの出発前に、年輩方と色々な事を雑談的に話したのですが、ご存じの通り、隣のガソリンスタンドが閉鎖になりましたので、さしあたってこれから寒くなると、ガソリンの給油もですが、やっぱり年輩者なんかは灯油を買うのも難しくなるねという話が出ました。もう武久まで行かないと、ガソリンスタンドはありません。向こう側は、垢田の辻を下った所にありますが、こちら側は生野にあるだけです、配達する所もほとんどありません。ガソリンスタンドも人員が削減されていますから。そのため、遠くから配達して貰うとなると、自分で買いに行くスタンドと比べると、かなり高額になります。

その事も含めて、スタンドが無くなると、今から寒くなりますが、お年寄りからは、どうしようかという話が出ています。スタンドが無くなるのは、地域の皆で応援しても、どうしようも無い事なのですが、そういう話が随分とありました。

今から寒くなるので、皆が不安がっている事を課題にして下さい。そういう事を皆が集まって、お互いに雑談しながらの話かもしれないですけど、皆も身にしみて感じているのだという実情でございます。

【司会】

ただ今、買い物弱者対策ということで提案がありましたが、他には何かございませんでしょうか。今、言われた事は、旧市街全域が高齢化する中で、全域に関わる問題ですね。

【市民】

今までは、他人事のように感じていたけれど、自分の所となると特に課題に思います。

【司会】

灯油の配達制度があれば本当に助かるなと思いますね。それから弁当なんか朝昼晩きちっとカロリーまで計算して、配給するという、そういう商売になっているので、やっぱりその事への対策というのは本当に大事だと思っています。

【市民】

配達となれば、価格も2割増しにはなりますよね。

【司会】

そうですね。他にございませんでしょうか。

【市民】

幡生周辺開発促進委員会から参加しました。

まずは幡生ヤードの問題ですが、やはりここの開発を進めて頂きたいという事で、教育センターを核として、開発を進めるという事ですが、教育センターの機能ですね。先生方の研修施設だと聞いていますが、地域にとっては、せっかくできる施設ですから、地域の人も開放して頂きたいと思っています。

そこから、その他の施設についても幼保一体化施設が出来ると公表されていたのですが、どうも役所の中で、そういう事はまだはっきりしないとか、整合性が役所の中で出来ているのかなという思いがしています。この施設ができるのであれば、地域にも速やかに説明して頂きたいということ。他の施設についても基本方針の通り順次施設が出来ていくことを私たちは願っている訳です。

もう一つは、山の田の問題で、これは交通対策、或いは高齢者、或いは障害を持たれている方への対策ですね。今、地下道がありますが、あそこが、例えばお年寄りの方なんかは、なかなか坂が急だというのもあって、難儀されている方もいらっしゃいます。ましてやあそこを車椅子で通るといのは難しい状況ですよ。

ですから、そういう状況もありますし、交通量も激しいですから、横断するのが非常に難しい。そういう中で、交通のバリアフリー対策ですね。私たち地域で声が挙がっているのが、地下道をもうちょっと見直すなり、エレベーターのある新しい地下道を設置して貰えないだろうかというような事も出ております。そういった事で交通対策、バリアフリー対策ですね。この辺が一つ課題になるのではないかと考えています。

それから、旧サティ閉店後もそのままになっていますが、今、お話があったように、買い物難民という表現が良いのか分かりませんが、地域の方は大変お困りになっています。早く再開して欲しいという話もあるのですが、民間所有ですので、行政が入って行くのもなかなか難しいですけど、しかし民間と行政が連携して、行政の先導的な施策でこれを再開するというようなことで進められないのか、そういった事も大きな課題としてあると思います。

【市民】

山の田自治連合会の会長をしています。

実は、ここの公民館の事でございますが、毎年のように市長へ陳情に行きまして、お願いをしました所、おかげさまで駐車場約10台分を確保して頂き、大変助かっている訳でございますが、更に、今後の事になります、公民館を拡張する何らかの手立てはなからうかと思っています。と言いますのは、この公民館、ここは講堂ですが、ここは200人程度しか入れません。ところが、山の田の自治連合会で行う敬老会にしろ、武久もこの会場を敬老会として使われます。更に幡生自治連合会も使われます。特に、幡生自治連合会は230名の方が、この中で寿司詰め状態で使わなくてはならず、毎年のように困っている状況です。そういうことですので、毎年のように市長への陳情では、私が申し上げておる訳でございますが。この会としてもまたよろしく願いできないだろうかということでございます。市長陳情につきましては、中央クラブとしても今年21日に陳情の機会がございますので、また市長さんにお話はしようと思っております。市長さんにお話すると山の田は今から発展するからな、どんどん家も増えるからな、こういうふうにおっしゃっていますので、早くこの地域の色々な施設を広げて頂きたいと、このように思います。私はずっとこの地域で住んで、自治会長としてお世話をしてはいますが、他の所を見てみると、この地域が、一番開発が遅れているのではないかと、どちらかという谷間のような感じを受けております。今、幡生周辺開発促進委員会の方からご発言があったように、幡生周辺もな

かなか前に進まないというような状況でありまして、これを一つこの会としてはお願いをできたらと思っております。

【市民】

大学町自治連合会の会長をしています。

今、色々と皆さんのお話を聞きまして、大学町もどんだん山の田の中心からちょっと離れておりまして。幡生周辺開発促進委員会の方が、毎年、山の田新駅の早期実現に向けて中央クラブ、或いは幡生周辺の方で市長への陳情を行っている訳でございますが、いつも地元の熱意が必要であるということで、漠然と新駅をお願いしたいとは言っておりますが、もう少し市の方として、この山の田新駅、或いは幡生の新駅を作るには、どの程度の金が掛って、皆にどの程度の負担が必要となるのかが見えてこない、色々と運動するにしても素人にはどういう規模で、どの位の金額になるのか全く分からないという事でございますので、この辺を大まかで構いませんが、大体一人当たりこのぐらいの経費が掛るよという辺まで行政として住民に下ろして頂ければ幸せるなという声もきていますので、よろしくをお願いします。

【市民】

課題といいますけれど、次の活性化ですか。2番の方ですね。今、課題のお話かと思うのですが、次に、課題に対する活性化があります。そちらの方でご意見を述べたいと思います。

【司会】

他にはございませんか。それでは、私の方から課題というか、要望というか、そういう事についてお話させて頂きたいと思えます。

現在のところ、幡生ヤードの跡地、これには大坪から武久にかけて武久85号線という市道がございます。今現在、この道路の改修工事をやっております、全体の道路幅は14メートルということで、7メートルが車道、歩道が両サイド合せて7メートル、2車線が今年度末までに完成予定となっております。

なぜそのように道路を選考したのかと申しますと、これは先ほど幡生周辺開発促進委員会からお話がありましたように、教育センター、或いは市の教育委員会が事務所を構えるということで、道路が狭隘であるため、拡幅して大型車両の通行も可能にするために行っている訳です。将来的には、今の教育センターは、小中学校の耐震化補強工事に相当な額が掛るということで2年延期しています。したがって、この教育センターは2年遅れ、或いは3年になるかも分かりませんが、そういったことで着工するという予定になっております。それはそれとして、やはり早急にやって頂きたいという事と、それから、ここに関係する都市計画道路、これは市の都市計画道路ですが、武久幡生本町線という道路ができるようになっております。将来的には橋上駅、新幡生駅を設置して橋上駅を作るという計画になっておりますが、山の田駅との関係もあります。従って、そういった事もやはり早く計画を立てて、具体的な事を市民に見せて頂かないと市民は夢を持ってない訳ですね。

それからもう一つは、現在の幡生駅をバリアフリー化するという計画が早くから出来ていますが、既に下関市内においては小月駅、長府駅、新下関駅等はバリアフリー化がされ

ている訳ですね。にもかかわらず、なぜ幡生ヤードのこれだけ高校生の利用、或いは大学生の利用が非常に有るにも関わらず、これがそのまま放置されているのか。言い出してから何年掛ればこれが出来るのかという事も、やはり市の姿勢への疑問に思える訳です。したがって、そういったことも含めて、きちっと将来を見据えた計画を市民に知らせて欲しいという要望でございます。

【司会】

他にはございませんか。

【市民】

今の事で、幡生駅のバリアフリー化の話が出ていて、早くやって欲しいというのがあります。

もう一つ、今、改札口が幡生側に一つしか無いのですが、武久側からの改札、降口を是非、この際、バリアフリー化の事業と併せて検討して頂きたい。これを地域が非常に望んでいる訳ですね。現状で色々とお聞きしますと、急いでいる方は、線路をまたいで渡って行く人もいるという話を聞いておりますし、せっかくバリアフリー化の事業を進められるのであれば、併せて出来ないかという事で是非、検討していただけないかと思っております。

【市民】

今、長府駅は四王子山の方からのエレベーターで通れるようになっていきますよね。今、幡生周辺開発促進委員会の方が言われましたように、長府は四王子山の道路、住宅街からのエレベーターで上がれば、上全部が駅舎になっていますので、四王子山の方、大きな団地ができていますが、皆さんすごく助かっているとされていました。昨日も会合に行った時にそう言われました。是非、武久だけではなくて山の田の方も良いと思いますよね。あちら側に改札ができれば。

【司会】

他にご意見ございませんでしょうか。無いようでしたら、時間もずいぶん過ぎておりますので、次に入りたいと思います。課題解決の方策、或いは活性化策などについて、先ほど課題がでました内容について、私はこう考える、こうした方が良いのではないかというようなご意見がございましたら、是非、この際にお聞かせ願いたいと思います。よろしくお願ひ致します。

【市民】

山の田中学校PTAの会長をしています。

今の課題に向けた解決とはちょっと外れるかもしれませんが、PTAの立場から申し上げますと、山の田中学校区では、山の田中学校に山の田小学校、生野小学校を含めた3校でコミュニティ・スクールという取り組みを始めております。これは、ざっくりと言いますと、学校、保護者、地域が連携していきましようということで、地域住民に子どもたちともっと関わって頂きたい、地域の皆様の力を貸して頂きたいというものでございます。

北部地区よりも小さいエリアですけれど、中学校区で取り組んでおりますので、市内の他の各学校単位から小学校は小学校で、中学校は中学校でやりなさいという事なのですけ

れど、山の田中学校区だけは中学校区にある小・中学校の連携で進んでおります。具体的には、これから何をやるのかを検討していかないといけないのですが、その中で是非、自治会の皆さんにも協力して頂くという事と、今日のまちづくりの中で、その辺の連携といえますか、そういう所をご協力頂くという部分も一つ考えて頂ければと思います。

また、学校の空き教室であるとか、そういった所で何かして頂くとか、そういった所まで学校開放というのも進めていくようになると思いますので、是非、一つ案として入れて頂ければと思います。

【司会】

これはですね、他の所では、小学校単位のコミュニティ・スクールだと思いますけれども、この地区、山の田中学校区については、コミュニティ・スクールが中学校単位でという様な事で進められていますので、一つ課題の中に入れておいて頂いて、皆さんへの協力要請、コミュニティ・スクールへの協力要請ということで、課題の中に入れておいて頂きたいと思います。

【市民】

議会に傍聴に行きました際にも、そういった発言がありました。

【市民】

今の件についてですが、昔と今とでは本当に違うなと感じるのが、昔は各自治会に必ず子ども会というのがありまして、山の田でも子ども会が七つも、八つもあったのですが、段々と減ってきて、そして校子連の単位で一つになって、とうとう校子連も無くなって、コミュニティ・スクールという形になってきたのですが、お母さん方も忙しいから、仕事があるからお世話できないという事で、なかなか子ども会に参加されないのですが、何とかコミュニティ・スクールを広げて子ども会を作っていくと。

例えば、二つの自治会が一緒でも構いませんし、三つの自治会になっても構いませんが、子ども会を作って、昔は、男子はソフトボール、女子はポートボールということでやっていましたよね。なぜ、あのようなものが無くなったのかなと思って。

子どもの数も少なくなってきた、というのは確かでございますが、その辺も一つこれからの課題じゃあないのかなと。もう少し、昔の様にはならないと思いますけど、少しくらい過去に戻っても良いのではないかなと思いました。

【司会】

他にご意見はございませんでしょうか。こうしたら良いなという事で良いのですが。

先ほど、生野校区スポーツ振興会の方が、防犯灯についてご発言されましたけれど、基本的には、市が防犯灯の電気代のうち7カ月分を市が負担となっていますが、年々、実際に使われた金額が多くなってきますので、その分、負担割合、補助額が少なくなってしまう。

市は、この予算を前年度から減額するのではなく、防犯灯の数は増えているので、逆に10パーセントでも5パーセントでも増やして頂きたい。

増えることはあっても、減るということはないので、増えた分だけでも自治会の負担を軽くして貰いたいという要望でございます。是非、お願いしたいと思います。

他にございませんか。保健推進協議会からはどうですか。今から寒くなりますし、風邪をひかれる方もおられるでしょう。

【市民】

私は今、自治会の無い所に住んでいます。新しくできた戸建ての団地で40世帯くらいなのですが、全世帯が同時に入居した8年前に、一度、自治会設置の件も含めた話し合いをしました。

当時は、私も下の子どもが生まれたばかりで、余裕もありませんでしたし、皆さんも同じように子育て世代、まだ幼稚園以下のお子さんがある世帯で、だれも自治会というものが良く分からなかったというのもあるし、自治会を作るまでには至りませんでした。

あれから8年経ち、各世帯でも子どもが小学生、中学生、高校生になっていますので、自治会が無い事による弊害、問題点などを提起していただければ、もう一度考える機会も出来るのではと思います。

それと、私は子ども会に入りたくて、校子連にお世話になっていたのですが、そこも無くなってしまったので、夏休みの小学校のプール解放が利用できなくなりました。

校子連の活動が無くなったのは非常に残念なのですが、今は自治会も無いので、地域の情報が全く入ってこない状態です。

私は小学校のPTAに関わっていますので、少しは地域の方と触れ合う機会もあるのですが、そうではない方々は、多分、地域の情報が何も入ってきていないと思います。

市報だけは有志で配っている状態で、3号公園の夏祭りでは、有志で募金を集めさせて頂いていますけど、今はそれ位しか関わっていないと思います。

やはり、地域を知るところから地域への愛着が出てくると思うので、そこをもう少し周りの方からも働きかけて頂ければ、何か動きがあるのではないかと思います。

【市民】

自治会を作りましょう。いつでも言ってください。

【司会】

12時になりますけど、本来なら先ほど出ました課題について、このように対策をしたらどうかという様なご意見も若干出ましたけれども、これに対するご意見もございませんので、最終的にまとめをしたいと思うのですが、よろしいですか。

【市】

上からいきますと、防犯灯の設置、町と町との境界では、なかなかその辺が進まないということで、これは境界の話は出ていないですが、市の予算の確保をお願いしたいということでございます。

それと避難場所の確保で、海拔が低い。今の避難所の場所で海拔の基準はどうなっているのかというのがありました。

それから、先ほど出た買い物弱者。灯油とか、これが懸念事項であると。それと関連してという買い物難民と言う観点からすればサティの再開ということが出ております。

それと地下道、幡生駅のバリアフリー化の推進。公民館の拡張。それと新駅の整備にかかる住民負担はどの位になるのか。それと、教育施設整備にかかわる情報提供。出来るだ

け地域に開放した、そういう取り組みも考えて頂きたいということ。それと幡生駅武久側の方にも改札の設置をお願いしたいということ。

最後にコミュニティ・スクールへの要請と。子ども会が欲しい。それとこれに関連しまして、地域の皆様にご協力を願いたいということが出ております。

【司会】

ありがとうございます。本来なら私が読まないといけない部分でしょうが、今、課長の方から説明がありましたようなことで、課題としてはこういう課題が出ました。

そして対策としては、特別な対策はございませんでしたけれど、とりあえず時間も12時になりましたので。つたない司会ではありますけど、これをもって終わりたいと思いますが、よろしいですか。

【市】

司会の方、ありがとうございました。

今のご意見の中で出ました、例えば避難場所の位置とか海拔の基準とか、今、我々はデータを持ち得ておりませんので、これはまた個別に回答をさせて頂くということでご了解頂けたらという風に思います。

それと他の要望等につきましては、整理した後、概要と共に各担当課の方にお繋ぎし、対応等検討して参りたいと、そういう事でご了解を頂けたらという風に思います。それでは最後になりますが、次長から感想なりコメントを述べさせていただきます。

【市】

今日は皆さん、まちづくり集会にご参加頂きまして、ありがとうございました。

今日の課題を見て頂いて、全くフラストレーションが溜まって、いくら云ってもどうにもならん、どうなっているのだと思われた方もいるかと思えます。

やっぱり要望についても、行政が判断するには期間が掛ることがあります。例えば幡生駅、山の田新駅などは、意見を言えば言う程、色々な人の意見が出れば出るほど、なかなか難しくなったり、時間が掛ったり。それは行政も一生懸命良くしようとする中で、決断が出来ないこともあったかも分かりませんし、本来の開発の中で少し下関の底力として動きが遅れているという状況があるかもしれません。

ただ、地域として要望して、じゃその何年間はずっと我慢して待っているのか。我慢できるものであれば良いのですが、今の防犯灯なんかは我慢できませんよね。本当はどうにかしないとイケないのですよね。

NHKでご近所の底力といった番組がありましたが、割りと難しい課題であっても、皆で協力しあって解決していく方法もあつたりします。

ただ、今日は沢山の関係団体にお集まり頂いたように、連合自治会にしても、それからそれぞれの民生委員にしても、本来、自分が関わっている自分が受けた課題を一生懸命に解決していこうと努力しておられることと思いますが、地域ではやらなければならない活動がある、行事がある、行政との連携がある、意見を言う場がある。色々な中で日々刻々と、目的をもって一生懸命それぞれやっておられる中で、尚且つ、この地域課題。灯油配達の話もそうですけど、言ってもなかなか解決できないし、誰がかしてくれれば良いが、

行政も良い意見があれば教えてくれれば、という風な中で、時間だけが経ってしまっているのですよね。でも、こういった事は今の既存の組織だけでは、何か滞っていることが多いのではないかと思います。

必ずしも、今よりも大きな組織を作るという訳では無いですが、皆さんが集まる場というものを持って少し、業務とか、自分の役割とか、分担などを余り意識しないで、こういう風な場の中でまちづくりを協議する中で、もしかしたら解決する方法が見つかるかもしれない。

以前から、自治会が無い所のことで市にご相談を頂いていますが、行政の場合、地域の方が少し積極的になって頂ければ少しは協力しますという様な、それなりの標準的なスタンスになってしまっています。行政が主導権を握ってしまうと、行政が言ったのだからこの様に分担します、行政が言ったのだから、あなた方がしなさいとなってしまう。そのため、行政仕事だと言われても、行政があえて先行していない所もあると思うのです。

しかし、もしかして、それによって沢山の方が不利益を被ったり、沢山の方が調整で苦労しておられる所もあるとするならば、やっぱりこの様な場でどうにかしないといけないというのが地域のまちづくりの会議であって、地域のまちづくりの会議を通して何か出来る事とか、防犯灯の負担の話とか詳しくしていない所もあったと思うのですね。

そしたら按分しようだとか、色々な事ももう少し考えられるのですが、一對一の自治会だけの話だと、やっぱり答えが出ないかもしれない。

やっぱり民生委員の事であっても、各自治会の仕事はあるけれども、やっぱりこれはきちんとやっていかないと地域全体での安心・安全が守れないといった事になるかもしれませんよね。

ただ、仕方がないのでもう1回持ち帰って判断しようかとか、そういう次のステップが必要な事も沢山あるはずですよ。

先ほど少し危機管理の面では、避難場所、避難箇所と言われていましたが、本当であれば、自分たちの地域で今、地震が起きたら、津波になったら、どこに行かないといけないのかという事を地域の皆が知っていて、大人は子どもやお年寄を連れて動けるくらいのイメージが出来ていないといけないのでしょうか、私の住む地区でも、まだまだ出来ていない。

しかし、行政は、避難地図を皆さんに配布していますし、求められれば避難経路もペーパーで渡しますと言うはずなのですが、実際の避難イメージがあるかとなると、無いのですよね。そうしたら、やっぱり地域で、それは義務ではないけれども、やっぱり地域でイメージしなくてはいけないかもしれませんよね。

そういった避難の事でも、地域の皆で良く認識して、どこを通過して、こう避難場所まで行かないといけないと言うのは、やっぱり地域で、そういった場を持たないとダメかもしれないです。そういった事でも、今回の様なまちづくりの会議を開いていけば、なんとなくでも、あれも不安だな、これも不安だなと感じるものが出てくる。でも、それは本来、私の仕事じゃないねという話になっているのですよね。

自治連合会長の皆さんは、普段からのお役目がとても大変ですので、どの方が代表とい

う訳ではないのですが、もしかしたら社会人の方で、日中はいつも忙しいけれども、この人は頼りになる、信用できるという人、調整役になれる人がいるのであれば、そういう人をまちづくりの相談役として、一緒になって地域課題を解決していこうといった事もこれからどんどん出てくると思うのですよ。

これからは、行政に協力して下さい、補助金を少し増やして下さいと言われても、行政は、どちらかという沢山持っている施設をどうやって減らしていくか課題です。

福祉や医療費で予算が沢山必要となりますが、仕方がないですよ。

そういった時代がこれからまだまだ続く中で、やっぱりカットせざるを得ないもの、または止めないといけないものが山と出てくるのですよね。

今日の会議を皆さんは余り良い会議だとは思われなかったかもしれませんが、やっぱり既存の組織だけでは、なかなか自分の責任の範囲ではない活動、出来事があるのも、なんとか地域としていい方向に解決していく。安心・安全に向けて取り組んで行く手立てを、この地域の中でも何らかの会を通して、頑張っって前向きな対応を一つでも進めて頂きたいと思います。

そういう時に、行政の一人の職員でも、オールラウンドの人って居ないと思うのですよね。あなたの担当は下関山の田、北部この辺りは私が担当ですとなっても、この人だけですごく何か出来る訳ではない。行政でも、やっぱり餅は餅屋であって、色々なメンバーも関わって、という事も必要になると思いますけれど、ただ、課題が整理できて、そして話をする中では、いくらでも相談できる役もあると思います。

それを託されて頼むねと言われたら、やはり時間の掛る事もあるかもしれないけれど、地元でできる話はここ迄なら自分たちでやりますから、行政も次の展開を進めてねっていう話になると、少しでも安心が増えて行く事になりますので、これから頼りになる行政でありたいと思っておりますけれども、まだまだ、時代の変化の中でなかなか生き目のいかなない事や、生活の中での不安感が増える中で、新しい動きとしてこういう形のをうまく見ていきながら、そして一つでも解決できる方向を協力していきたいと思っています。

今日は、解決という捉え方ではなかったですが、是非、このような場を持つことについてご協力を頂ながら、そうはいいながら、行政主導でないという会が持てないと言っていたら、いつまで経っても待っているだけになりますので、自主的なこういう風な会を作っていく時期を早く持って頂いて、色々な形での課題解決に向けての新しい動きにご協力頂けたらと思っています。私だけが最後にしゃべって申し訳ないですが、行政も色々な形で応援させて頂きたいと思いますので、どうぞ引き続き宜しくお願い致します。今日はどうもありがとうございました。

【市】

それでは、連休の中日、またお忙しい中お集まり頂きましてありがとうございました。